

学 園 だ よ り

太 白 山

(平成31年1月発行)

宮城県さわらび学園

〒982-0215

仙台市太白区旗立2丁目4-1

TEL : 022-245-0333

FAX : 022-245-0515

<http://www.pref.miyagi.jp/sawarabi/>

学園ホームページもご覧ください

平成30年度さわらび学園祭

実行委員長 羽賀 慧

厳しい夏が終わると、分教室から和太鼓の音、合唱の声が聞こえてきます。寮でも意見発表の作文を作り始めます。始めは太鼓を合わせられない、うまく作文が書けない子ども達ですが、日を追うごとに少しずつできるようになっていきます。

和太鼓や合唱は自分が任された役割をしっかりと果たすこと、みんなと合わせる事が求められます。自分のパートこなすだけでも難しかったのが、当日はみんなで息の合った素晴らしい演奏をする事ができました。

意見発表では、今まで生活して感じた事、スポーツの事、担当の先生の事など子ども達が自由に考えて発表しました。大人数の前で発表した経験のない子ども達が、自信を持って自分の意見を発表している姿には感動を覚えます。

学園祭を通して、子ども達は大きく成長し、みんなで力を合わせる事の大切さを知って、大きな自信を付けたように感じます。ご来場いただいた保護者・関係者の皆様に感謝申し上げます。これからも児童・職員一丸となり頑張っていきたいと思えます。

「学園祭を振り返って」

H・Y

今日は学園祭で、意見発表会と和太鼓演奏、合唱をしました。親や児相、学校の先生、その他いろいろな方々からきていてとても緊張しました。

まず、意見発表会は、百人位いる前で発表するので、ドキドキしていました。でも発表になると、しっかりとつきり、大きな声で読む事ができたのでよかったです。

和太鼓は、緊張しましたが、体全体を使って大きく動かししました。和太鼓の前に円陣を組んで緊張をほぐしたので、間違えることなくスムーズにできました。

合唱は、練習の時にかなり、間違えたところもあったけど、本番では間違えずに最後まで歌い抜くことができましたのでよかったです。

学園祭を振り返って私は、とても達成感があったし、大成功だったと思います。

いままで練習した成果をだせたのでよかったです。

「学園祭の記録写真」

立派な姿勢！ 立派な発表！

和太鼓に合唱！

みんな頑張りました！



「ご来場ありがとうございました。」

修学旅行（中学部）

三年生担任 渡邊 貴之

三年生は、東京・横浜方面に修学旅行に行ってきました。『Edo's』最高の思い出に『』というスローガンを掲げ、学級目標の「感謝・認め合い」を意識して、活動することができました。研修場所が多く、移動が大変でしたが、充実した時間を過ごすことができ、生徒たちにとって最高の思い出になりました。

修学旅行の行程を紹介します。

九月十二日（水）

○横浜中華街

・本格中華料理の食べ放題を満喫しました。

○横浜カップヌードルミュージアム

・世界に一つだけのオリジナルカップヌードルを作製しました。

○VR ZONE SHINJUKU

・最新VR技術を体験し大興奮でした。

○ルミネザしもと

・最高の漫才やコントで大爆笑でした。

九月十三日（木）

○フジテレビ

・めざましテレビのセットで写真撮影しました。

○MEGA WEB（トヨタ）

・車の運転技術と知識を学びました。

○東京ディズニーランド

・みんなで『スペースマウンテン』に乗りました。

九月十四日（金）

○江戸切子

・黙々とグラス作製体験に取り組みました。

○浅草寺参拝・仲見世散策

・みんなでおみくじを引きました。

○秋葉原散策

・カフェと買い物で満喫しました。

児童まとめ作品・当日の写真等



修学旅行（小学部）

小学部担任 播磨 陵

小学六年生は、一泊二日で福島県会津若松方面に修学旅行に行きました。修学旅行の目的として、①施設や自然から学ぶ。②公共のマナーやルールを守る。③先生と仲良く活動し、楽しい思い出をつくる。の三点を心掛けて活動しました。児童は事前学習のときから修学旅行を楽しみにしており、全ての活動に意欲的な様子でした。二日間の行程を紹介します。

【九月十二日（水）】

○J-P 高速バスで会津若松市へ移動

↓時間を守って静かに行動。

○鶴ヶ城

↓鶴ヶ城天守閣に登る。

○赤べこ絵付け体験 幸泉小法師

↓自分だけの赤べこ作り体験。

○武家屋敷

↓屋敷の見学と弓道体験。

【九月十三日（木）】

○猪苗代湖

↓磐梯遊覧船で猪苗代湖を一周。

○南ヶ丘牧場

↓乗馬とアイスクリーム作り体験。

○新幹線で仙台駅へ移動

↓大声を出さず指示を聞いて行動。

修学旅行の写真

修学旅行中、児童はきちんと時間を守り、周囲の迷惑にならないように意識して行動することができました。施設の見学や体験学習も意欲的に行い、活動を通して様々なことを学習しました。教員の指示もしっかりと聞いて、楽しい思い出をつくることができました。



F A S カップ (南三県交流大会)

野球

野球部コーチ 夏谷 朔

初戦、福島学園(福島)との試合は7―2で勝利、二試合目の朝日学園(山形)との試合は3―1で勝利しました。3つの学園で総当たり戦を行い、さわらび学園が第一位になることができました。

地区大会では素晴らしい頑張りを見せた子どもたちでしたが、勝利できなかった悔しさも残っていました。そこから一生懸命、練習に取り組み成長してきました。自分たちの良さを更に伸ばしながら勝利を目指した結果が、今回の大会につながったと感じます。初勝利が決まった瞬間のベンチは、子どもも大人も大興奮で、笑顔の子や嬉し涙を流す子と、みんな良い表情で忘れられません。

年度当初、子どもも大人も野球経験がない中で活動が始まり、最後に素晴らしい成果を出せたことを嬉しく思います。この経験や達成感が、将来子どもたちの良きエネルギーになると嬉しいです。監督と共に、「一番近い距離で彼らの成長を見ることができて、最高の半年間でした。」

「最後のF A S カップ」

A・S

私は、たくさんの人に支えられて、今回のF A S カップを戦い抜くことができました。地区大会では、一度も勝てずに終わってしまい、とても悔しかったですが、今回は優勝できたのでとても嬉しかったです。試合だけではなく、昼食の芋煮作りも美味しくできて、良い雰囲気に参加できたことも楽しかったです。

私たちがF A S カップで優勝できたのは、色々な先生の支えがあったからだと思います。監督とコーチは野球の経験がなかったのですが、色々な不安があったと思いますが、私たちが勝ったことで、練習は正しかったことを証明できたことが本当に嬉しかったです。また、バッテリーを組んでいる相棒がMVPになった時には、自分のことのように嬉しかったです。ずっと監督には恩返しをしたいと思っていたので、F A S カップで少しだけできたかなと思います。今後はサポート役として野球練習に参加して、みんなのために色々お手伝い、監督にも少しずつ恩返しをしていきたいです。私は野球から本当にたくさんこの

とを学びました。このことを今後、自分の生活にも活かしていきたいと思っています。今まで本当にありがとうございました。ごさいました。

バドミントン

バドミントン部コーチ 平野幸治

この日のために、3ヶ月分の小遣いをはたいてカメラを買いました。ファイナダー越しの選手達を通して、半年間の様々なことを思い出しました。

大嫌いなフットワークや、本校との練習で感じた力の差、雨の中の中総体での完敗と悔し涙。だんだん練習中の目つきや態度が変わり、ダブルスを通してチームワークができてきたこと。試合直前になってもサーブスのラインが分からないことや、練習後水筒を洗わずに何度も何度も怒られたことまで、いろんなことがありました。

そんな今までの想いがたくさん詰まった写真は、選手たちのいい顔で一杯でした。真剣な表情だけでなく、初めての勝利の涙や準優勝の誇らしげな顔、みんなでとった満面の笑み。そして、応援に来てくれた人たち。

練習、つらい時も、嫌だった時もたくさんあると思います。それでも、最後まで頑張り続けたからこそその表情だと思っています。

バドミントンを通して、「継続した努力は自分を変え、周りを動かすこと」を選手たちは実感したものと思います。その過程を共に過ごし、記録に残すことができたのはコーチの特権でした。この先、何かつらいことがあったとき、一生懸命だった自分の写真を見て、「また頑張ってみよう！」と思ってもらえたら嬉しいです。

「F A S カップを終えて」

O・M

私はF A S カップでバドミントンの試合をしてきました。午前は福島学園とのダブルスの試合でした。私はその時すごく緊張していて、あっけなく負けてしまいました。

ですが、そこで緊張をほぐすことができました。次の朝日学園との試合はシングルとダブルスの2試合に出場しました。シングルではネット際のシャトルが上手にとれずにファーストゲームを落としてしまいました。セカンドゲームではそこから無理やり気持ちを持ち上げ、ゲームを取ることでできました。ファイナルゲームでは、相手の弱点を突くように打ち、ぎりぎりだったけど勝つことができました。初めての勝ちだったので、ものすごく嬉しかったです。続くダブルス

の試合では互いに1ゲームずつ取りました。

ファイナルゲームでは思い切り声を出し、相手の苦手なハイクリアを打ち、チームメイトと一緒に必死になって戦いました。デュースの末競り勝ち、総合2位となりました。感動のあまり泣いてしまう程、嬉しかったです。

ここまでこれたのは、私自身がバドミントンを投げ出したり、あきらめたりしなかったのもありますが、チームメイトや、監督、コーチ、去年から練習に付き合ってくれた先生方等、皆の支えがあったからです。ここまで支えてくれてありがとうございます。



すみれ寮より

すみれ寮長 間宮 弘美

今年度すみれ寮は四名の児童でスタートしました。みんなで話し合いスローガンを、女子力向上と「継続」と決めました。「行儀」「マナーを守って」、

「エレガントに」を目標にしています。現在は中学生6名での生活になっています。分教室生活、作業、スポーツを中心に日々頑張っています。自由時間はくつろぎの時。児童にとつて一番の過ごし方はテレビ視聴。音楽を聴くことも好きです。

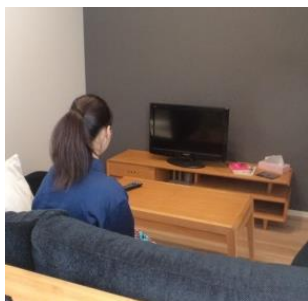
↑漫画本に夢中の人もいます。



↑漫画本に夢中の人もいます。



十二月にはゲストハウス2が完成し、一人で生活する自活訓練に活用しています。



個性豊かなメンバーですが、それぞれの成長を応援しています。

食育係より

食育担当 亀井 亜津子

一日三回、毎日の食事は子ども達の成長の源です。学園では、『温かいものは温かいまま、冷たいものは冷たいまま』提供できるよう工夫しています。学園には、好き嫌いが激しく、食事の時間・回数もバラバラで、食習慣が確立していない子ども達が多く見られます。入園後の規則正しい食事で、心身ともに健康的になっていく様子を見るにつけ、食事の大切さを感じます。行事毎の特別メニュー、季節感を取り入れたメニューの他、今年是世界のローカルメニューも提供する取り組みを始めました。また、子ども達の誕生日には、リクエストしたものを出品してもらえるため、みんなとても楽しみにしています。

食事を提供されるだけでなく、自分たちでメニューを考え、決められた金額で食材を購入し、調理する買出寮炊を、年間五回実施しています。献立を考える楽しさや大変さ、調理をしてくださる方への感謝の気持ち等を育む良い機会にもなっています。

子ども達が学園の美味しい食事をたくさん食べて、心身ともに更に成長してくれることを祈っています。

学習係より

学習担当 伊藤 仁人

今年度の学習係の大きな柱として、①自習時間の充実、②漢字検定への挑戦を設定しました。

一つ目の自習時間の充実では、学習習慣を身に付けさせたいと考え、分教室との連携を生かし、授業で学んだことを復習する時間を設け、学習の理解に取り組みむこととしました。さらに、振り返りとして自己評価を行い、自らの取り組みを記録として残すようにしています。

二つ目の漢字検定は年3回実施し、強化期間を設けて取り組んでいます。三級以上になると、高校進学のための調査書や就職のための履歴書に記入できることから、今後も計画的に取り組んでいきたいと考えています。

児童の学習環境充実に向け、われわれ職員も個に応じた細かな指導・支援を心がけ、児童の自己実現へ向け、オールさわらびで取り組んでいます。

☆編集後記☆

あけましておめでとうございます。今年もさわらび学園の児童、職員一同をよろしくお願いたします。今年も学園の様子を少しでもお伝えできるように頑張っていきたいと思っております。